

資料 1-2

(別紙)

令和7年 月 日

四国運輸局長 殿

今治市地域公共交通活性化協議会  
会長 土居 忠博

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

標記について、別添のとおり実施しましたので報告します。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和 7 年 月 日

**協議会名:** 今治市地域公共交通活性化協議会

**評価対象事業名:** フィーダー系統補助金等・調査等事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況					⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)																																				
				⑤目標・効果達成状況																																									
今治市地域公共交通活性化協議会	吉海地域乗合タクシー	<p>&lt;前回評価結果の概要&gt; 乗合タクシー事業の認知度向上を図る。利用者が少ない系統については、利用実態やニーズ等を考慮したうえで運行体制の検討を行うこと。</p> <p>&lt;評価結果の反映状況&gt; 利用者ニーズに対応するため、乗降場所を1箇所追加した。</p>	A  計画通り事業は適切に実施された。	B	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">利用者数(人)</th> <th rowspan="2">収支率(%)</th> <th rowspan="2">稼働率(%)</th> <th rowspan="2">公的負担額(円)</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>1便当たりの利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>760</td> <td>-</td> <td>20.0</td> <td>-</td> <td>4,900,000</td> </tr> <tr> <td>R7実績</td> <td>2,447</td> <td>1.7</td> <td>16.2</td> <td>49.0%</td> <td>2,600,880</td> </tr> <tr> <td>R6実績</td> <td>2,048</td> <td>2.3</td> <td>19.8</td> <td>46.4%</td> <td>1,912,650</td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td>119.5%</td> <td>73.9%</td> <td>▲3.6%</td> <td>+2.6%</td> <td>136%</td> </tr> <tr> <td>目標達成状況</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		利用者数(人)		収支率(%)	稼働率(%)	公的負担額(円)	利用者数	1便当たりの利用者数	目標値	760	-	20.0	-	4,900,000	R7実績	2,447	1.7	16.2	49.0%	2,600,880	R6実績	2,048	2.3	19.8	46.4%	1,912,650	対前年比	119.5%	73.9%	▲3.6%	+2.6%	136%	目標達成状況	○	○	×	○	○	<p>土日の運行を始めたことで、1便当たりの利用者数および収支率が悪化、収支率については目標未達となった。 利用者数、稼働率、公的負担額は目標を十分達成できている。</p>	<p>引き続き周知を図るとともに、利用実態に応じた運行水準・方法を検討し、利用者の利便性の向上を図る。</p>
	利用者数(人)		収支率(%)	稼働率(%)	公的負担額(円)																																								
	利用者数	1便当たりの利用者数																																											
目標値	760	-	20.0	-	4,900,000																																								
R7実績	2,447	1.7	16.2	49.0%	2,600,880																																								
R6実績	2,048	2.3	19.8	46.4%	1,912,650																																								
対前年比	119.5%	73.9%	▲3.6%	+2.6%	136%																																								
目標達成状況	○	○	×	○	○																																								

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和 7 年 月 日

協議会名:	今治市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	フィーダー系統補助金等・調査等事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	今治市は愛媛県の最北端に位置し、面積は419.21km <sup>2</sup> 人口は145,950人(令和7年10月末現在)近年では人口減少・高齢化が進展しており、民間バス路線が相次いで縮小・廃止するなど、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にある。しかし、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。その一環として、中でも、高齢者の足の確保を主たる目的とし、「域内の主要集落から、総合病院・スーパーへの移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

# 今治市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統  
事業評価(令和7年度)

## 今治市基礎データ

合併状況: 平成17年1月に12市町が合併  
人口: 145,950人(令和7年10月末現在)  
面積: 419.21平方キロメートル

## 今治市における主な公共交通概要

- 鉄道 JR予讃線
- バス 陸地部13系統、島しょ部7系統
- 航路 8航路(うち離島航路4航路)  
(幹線)
  - ・今治駅を起点とし、旧波方町、旧菊間町、旧大西町、旧朝倉町の各主要施設へ運行する民間事業路線  
(フィーダー)
  - ・吉海地区を走行する乗合タクシー



## 地域の交通の目指す姿（事業実施の目的・必要性）

別添1-2参照

## 今治市の公共交通ネットワーク図

### 陸地部



# 今治市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統  
事業評価(令和7年度)

## 協議会の構成員

四国運輸局、愛媛県、道路管理者、港湾管理者、瀬戸内運輸(株)、瀬戸内海交通(株)、今治タクシー事業協同組合、四国旅客鉄道(株)、愛媛県旅客船協会、愛媛県バス協会、愛媛県ハイヤータクシー協会、四国運輸局、今治警察署、伯方警察署、学識経験者、住民代表、各種団体の代表

## 前年度の事業評価における課題

利用人数の増加を図るため、さらなる周知と運行方法の見直しの検討が必要。

## 定量的な目標・効果

(目標)

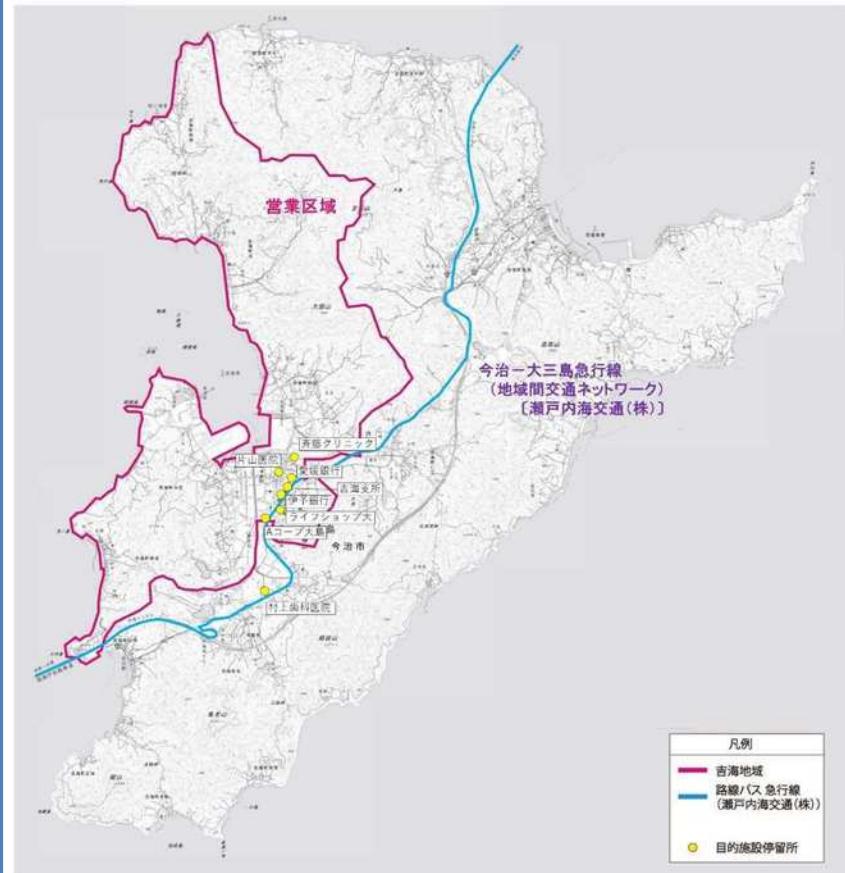
利用者数	760人
収支率	20%
公的負担額	490万

(効果)

当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

## フィーダー系統図

吉海地域



## 「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

- ・地域住民が集まる各種会合やイベントで制度の周知を行った。
- ・定期的に運行事業者と意見交換を行い、事業状況の把握に努めた。

### 自己評価

### 事業実施の適切性

主目的である高齢者等の地域内から、病院・スーパーへの移動手段を確保するため、事業は計画通り適切に実施された。

### 「定量的な目標・効果」の達成状況

	利用者数(人)		収支率(%)	稼働率(%)	公的負担額(円)
	利用者数	1便当たりの利用者数			
目標値	760	-	20.0	-	4,900,000
R7実績	2,447	1.7	16.2	49.0%	2,600,880
R6実績	2,048	2.3	19.8	46.4%	1,912,650
対前年比	119.5%	73.9%	▲3.6%	+2.6%	136%
目標達成状況	○	○	×	○	○

### 目標の達成状況

土日の運行を始めたことで、1便当たりの利用者数および収支率が悪化、収支率については目標未達となった。

利用者数、稼働率、公的負担額は目標を十分達成できている。

### 効果

当該路線を維持することにより、吉海地域の公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段を確保できた。

## 今後の事業に向けた改善点

- ・より良い交通サービスを提供するために、利用者および地域の方々の意見を聞く場を設ける。
- ・棕名地域において、利用の増加を図るため、利用ニーズの再調査や制度の周知を行う。

## その他PRポイント

令和7年10月に運行体系の見直しと増便を実施し、利便性の向上を図った。